

令和5年度 第4回加佐登小学校学校運営協議会議事録

令和5年12月5日(火) 13:30~14:30

加佐登小学校 少人数教室

1 あいさつ

委員長：暗くなるのが早くなっている。引き続き夕方の交通安全に気を付けて。

校長：最近の学校の様子について

- ・11月下旬に授業参観があり、200名以上の保護者が参観に来校
- ・インフルエンザで学級閉鎖になった学年があり、日に数人の欠席者はいるものの、大きな流行はない。職員がかかってしまって日々の欠課補充が大変。
2学期も終わりに近づき、学年末に向かって、1年間の振り返りを行う時期になってきた。後で説明があるが、学校関係者評価をお願いしたい。

2 議事 13:35~14:30

(1) 白鳥中学校区合同学校運営協議会について

本日15:00から石薬師小で白鳥中学校区合同学校運営協議会があり、その場で本校の取組について発表がある。見守りへの取組に絞って発表を行うため、見守りという観点から各委員から意見聴取をした。出された意見は以下の通り。

- ・見守りは、自分の立場でできることをやっていく。まち全体で役割を持っておこなっている。まちづくりの黄色の上着や帽子を着用して外出し、地域を歩くだけでも抑止になっていると考える。
- ・地域の大人として「あいさつ」など、日常的に声掛けをしていくことで子どもの安心につながっていく。見守りについては、役割をつけてしまうと負担になってしまうので、普段の生活の中でできるようになると思う。
- ・朝、あいさつ運動をしていると小中学生がまとめて通るので様子が分かるが、下校時は子どもの状況がわからない。子どもを暗くなってから見ることはない。
- ・高塚のマックスバリュー北側、加佐登小学校西交差点付近は。歩道がなく中学生の自転車が車の多い県道を使って通学している。小学校の中を通っていくのはダメなのか？
⇒地域の関係団体に働きかけを行い、例えば、小学校運動場南側の水路にふたをして、自転車が通れるようにするなど、知恵を出し合って関係者間で協議できればいいと考えている。
- ・子どもに関する大きな事件や事故がおこった直後は、とても敏感になっているが、年月が経つと警戒心が薄れていく。類似の事件や事故が起こる可能性は常にあるため、警戒心を持っていないといけない。
- ・加佐登駅前の警備もボランティアでまわっている。以前に比べて最近は良くなってきたため、ボランティアの効率的な活用という観点から、必要な箇所シフトしていくことも考えていってはどうか。
⇒継続して実施していることで、不審者に対してけん制する効果が出

ていると思う。高校生からも「駅に降りたとき安心できる」という声がある。ただ、負担になりすぎないように考える必要がある。

- ・ PTA の立場から、登下校の見守りについては、PTA 役員会や地区懇談会で呼びかけを続けていく。負担感が出ないように、強制ではない方が理想である。
- ・ 遠い地区は、保護者が登校についてくれる習慣があり、ありがたいが、継続できるか心配。保護者以外の方に付き添っていただけるとよい。
- ・ 県道にガードレールがなくスピードを出す車が多いところは心配である。

(2) 令和5年度学校関係者評価について

学校関係者評価を依頼するにあたり、お願いすることと今後のスケジュールについて委員に説明をした。

(3) その他

特になし。

4 教育委員会から

本日、欠席のためなし。

5 その他

(1) 次回以降の日程について

第5回	2月16日(金) 15:30~16:30	3階少人数教室
-----	----------------------	---------